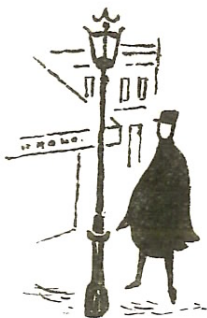


こむしこむさ

薩摩治郎八

コロンバンの門倉さんからBONBONの創刊号を送られた。がその後ブツツリ途絶えてしまった。面白くなりそうだなと思っていたのだが……ところがある会合で偶然門倉さんと同席して「薩摩さんもなにか書いて下さいよ」といわれてはじめてBONBONが引続いて出ているんだなと思った。それよりもその門倉さんと会った席が選挙当選の祝賀会で、その会長にカッギ出された脚のきかないゴ老人の焼きの入れた長談議でウンザリしていた。その矢先門倉さんが私のいおうとしていた言葉をズバリといって下すたのでホットした。人前で率直にものをいう人間の少ない日本だ。しかも銀座九町(八町はもう古い)どころかフランス菓子では日本一の銘店の御主人が恐らく会場の列席者の99%が愛想をつかしていたスローモーター老人のナントカの冷水に熱湯をブツかけて下すたのだ。四十年のパリボケのした私でも心底に秘んでいる江戸児的感觉がチクリときた。門倉さんのお菓子は甘いばかりではない筋金に通っているんだなと今更感じた、では書かして貰おう。という気になりこれまた選挙パーティーの二番手の前の数分間編集長のお嬢さんと会って話してみると実に愉快だ。BONBONはすでに3号出ていてズツとお送りしましたが行方不明で返送……と。私の雲隠れは物心ついて以来の常習で大きな声ではいえないが三ヶ月



と一つところに居いた例はかつてない。昔山田耕作さんもその方の雄だったか、先生のはセマイ国内での話、ところが国境のない日本人とか化け物みたいな定評を持つ私にくら門倉さんのババに「マラスキノ」だか「ラム」だかの芳香が漂っていても着かないのが本筋で当人の手にとどいたら奇蹟だ。その点もつと上手がある。ある大学の入試に薩摩治郎八とは何者か? と出たというのだ。パリに建てた日本学生館の親父位はどの学校側のアマイ考えだったのだろう。ところが回答は架空の人物、いやそれにワナをかけて「ネズミ小僧の本名」と出たというハナシをある雑誌記者からきかされた。本音を吐くと江戸時代に「無頼の治郎八」と当時のロカビリー族に人気のあつた白井権八ハダシの人物が実存したというのだ。どっちもネズミ小僧にしろ無頼漢にしろやはり住所不明の仲間だったに相異なる。私などがパリに日本会館なんてキマジメなものを建てたのが狂い咲きだった。転居まさに何百回だか何千回だか自分でもハッキリ記憶がない。モチロンそんな身持だから日本人の人別証だとかいうお米の通帳にもお目にかかったためしもない。その存在を知らしてくれたのがこれまた放浪では有名な早川雪州なのだから流石の彼もギョツとした。その私がましてや選挙などに行く筈がないのは万人承知の筈だと当人はウスポレているがさにあらず。名士族とやらの推せん状に知らぬ内に名を出されたりそうなる当選祝いにも嫌でも出てゆかねばそれ等名士連にもバツが合わぬことになる。かくて門倉大人と会った結果がBONBONの紙面を言葉通りケガすことになった。三平じゃないがまことにスミません。

それで門倉さんに今度はこちらが甘えてお店でお菓子をいただくような気安



さて書かせていただくことにした。
モノ書き家業はハタからは気楽にみえても肩がはる。新聞雑誌の編集者対手ときているから対手は売らんかなで必死だ。原稿といつても活字になればお礼と同様なわけだからヤレネームバリニとかコンマーシャルバリニなんてものが付きまとつてくる。ところがことBONBONに関する限りお菓子子のPRは勝手にやるから何んでも書けという珍らしいお話なので気儘にブルバールのプラタイン銀座の柳と織りませて筆をとらしていただくことにする。ただし正直にいつてチョットばかり心細いので編集長に「どうです田村泰次郎さんが画廊を出し銀座マンのお付合で素晴らしいデッサンでもつけてもらって……」と他人の縄で角力をとる気で助け舟を出したところ言下に「先生のおところにはこれから同うお約束です」との答え……実は泰次郎先生には私が海外に飛び出す前中学で二年……内一年はナマケで落第……いた時の同窓でそれに甘えてハッパをかけたのだ。その中学校が大体坊ちゃん学校で政治家とか実業家を出してないはならぬ筈なのにこれまた狂い咲いてしまった。第一期生に銀座八丁……当時は……をマカリ通った矢野目源一先輩、次が私を頭に田辺茂一、船橋聖一、後に田村泰次郎といった文学陣を生産してしまった。
但し毒舌で知られた某週刊誌氏が「世の中には尻あがりという言葉があるがこの番付は尻の方が横綱格じゃないですか……」尻の部の田村、船橋両先生には納得がゆくかも知れないが頭の方の我々三役……少くとも……ことにハウザー教祖の我々の敬愛する矢野目大先輩、新宿の夜の市長田辺茂一先生に対しては無礼者メだ。